

1 基本方針

- 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、晴天会場での式典実施が困難になった場合は、荒天会場
で式典を実施します。
- 荒天会場での式典の開催決定は、実施期日の1週間前から随時情報収集や関係機関との協議を
実施し、その判断を行うものとします。
- 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2 会場

- 米子コンベンションセンター
(鳥取県米子市末広町294)



3 参加者一覧

- 荒天時式典の参加者は、県外招待者約350人、県内招待者約350人、実施本部員等約300人の、
計1,000人程度とします。

区分	内訳	人数(人)
中央特別招待者	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等	30人
県外招待者	国会議員、中央省庁、中央団体、受賞者等	350人
県内招待者	県議会議員、実行委員会委員、受賞者等	320人
本部員・協力員	実施本部員、運営ボランティア等	300人
計		1,000人

4 荒天時運営計画

(1) 式典計画

○晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」部分、記念式典のアトラクションおよび参加者代表記念植樹を除いた構成とします。

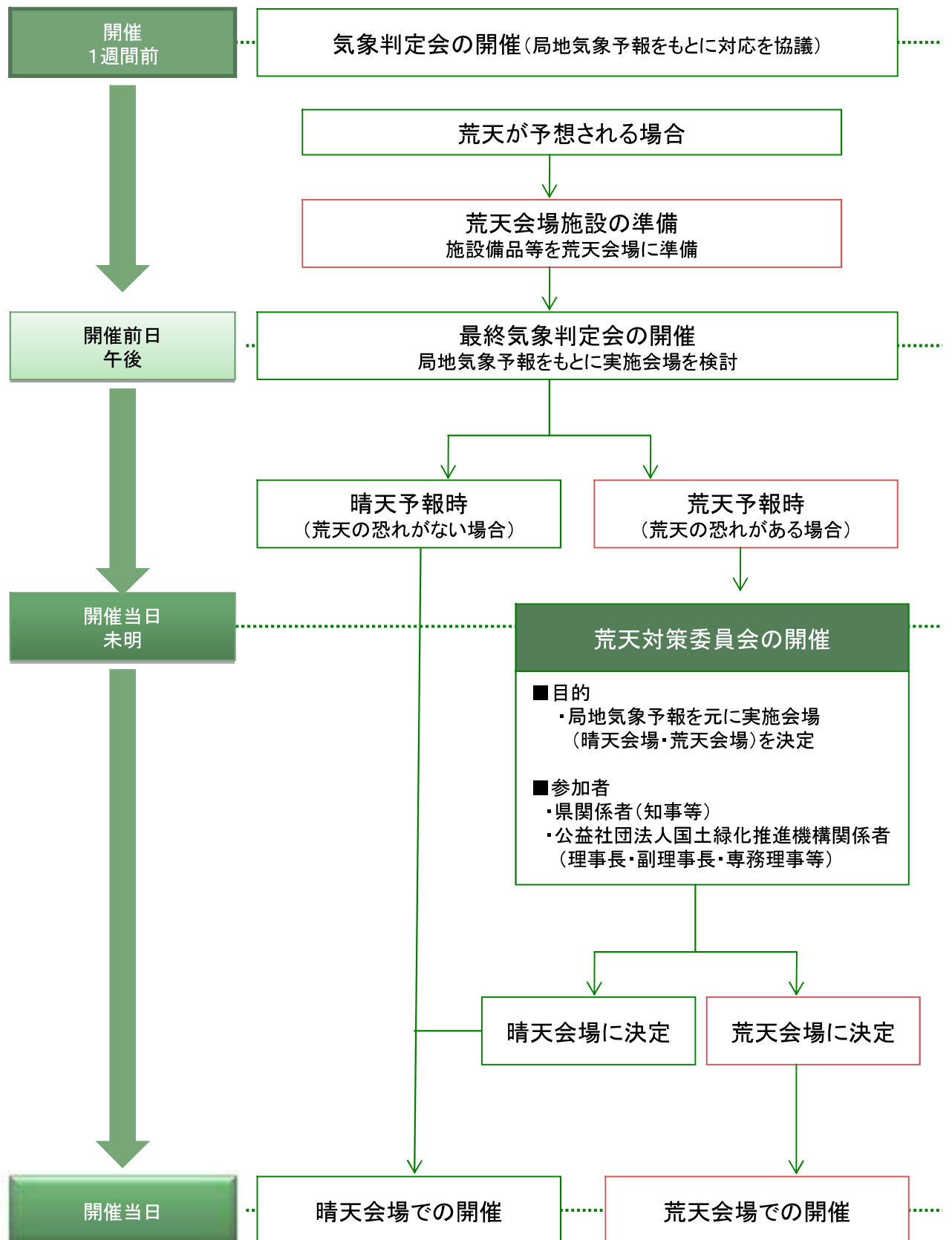
○式典音楽は、事前収録した音源やCD等を使用します。

○式典の時間は、50分程度とします。

(2) 式典プログラム

参加者入場	
11:00	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等
式典	
11:10	天皇皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下御退席
参加者退場	

(3) 荒天時への切り替えシステム



1 基本方針

- 全国植樹祭の開催を契機に「美鳥の大使による美しい国づくり運動」を核とした「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)」の広がりを目指します。
- 県民誰もが参加しやすい運動形態とし、地域の活動と連携した取り組みを展開します。
- 植樹祭開催後も継続し、広がる運動を目指します。

2 運動の進め方

- 現在取り組まれている市町村やNPO、企業等の活動に加え自治会、農林水産関係団体等とも連携・協働し、地域特性や団体の活動分野等を活かしながら全県的な活動を促進します。
- 県が認定する「美しい国づくり運動」に参加した県民を「美鳥の大使」として認定する「美鳥の大使による美しい国づくり運動」を展開します。
- 全国植樹祭への参加や県民運動に参加いただいた「美鳥の大使」が、身近な人に伝え、発信することで県民運動の広がりを促進します。

3 県民運動の内容

区分	参加機会の例	参加対象項目					
		一般県民	学校	青少年団体・地域団体	農林水産団体	ボランティア・NPO	企業
式典関連	○式典介添え等(みどりの少年団等) ○音楽隊		○	○			
運営関連	○会場案内等、簡易な運営補助	○	○	○	○	○	
会場整備関連	○飾花・清掃等美化装飾	○	○	○	○	○	
森林保全・環境保全活動	○とっとり木づかい運動 ○里山林等の再生・ナラ枯れ防除活動 ○森の健康診断 ○森林セラピー ○森林環境保全税等による取り組み	○	○	○	○	○	○
記念事業	○プレ全国植樹祭 ○カウントダウンイベント ○苗木のスクール・ホームステイ ○地域緑化・環境美化 ○ポスト植樹祭	○	○	○	○	○	
関連事業	○全国林業後継者大会 ○「とっとり共生の森」参画企業との連携事業	○	○	○	○	○	○
広報関連	○ポスター原画募集		○				
	○大会テーマ募集 ○シンボルマーク募集 ○愛称募集	○	○	○	○	○	
	○記念誌		○	○			
協賛関連	○県民協賛	○	○	○	○	○	○
	○事業協賛				○	○	○
	○メディア協賛						○

1 基本方針

- 第64回全国植樹祭の開催に向けて、県民が大いに盛り上がり、同時に、森林のめぐみや森林整備の必要性等を理解いただくため、記念事業等を実施します。
- 子どもからお年寄りまで幅広く参加できるよう、また、楽しみながら体験できるイベントなどを県内全域で展開します。
- 全国植樹祭の開催を記念し、その成果を将来に伝えていくための事業を実施します。

2 記念事業等の内容

- 記念事業は、全国植樹祭の開催理念を達成するため、鳥取県実行委員会が主催する事業とします。実施にあたっては、県民誰もが参加できるよう、また、参加者同士がお互いに交流・協力し、知識等の向上をさらに深められるよう配慮します。

(1) プレ全国植樹祭(1年前リハーサル)

第64回全国植樹祭の開催気運の盛り上げと県民参加による森づくりを推進することを目的として開催します。

- 〔時期〕 平成24年春季
- 〔場所〕 とっとり花回廊
- 〔内容〕 式典、記念植樹、森林体験、展示など

(2) カウントダウン地域緑化イベント(平成24年度実施)

県内各地において、リレー植樹を計画します。

(3) ポスト植樹祭(地域植樹会場での植樹祭)

第64回全国植樹祭開催後も開催理念等を伝え広げるため、植樹や育樹の体験型イベント等を行い、県民参加による森づくりを継続します。

- 〔時期〕 平成25年春季～
- 〔場所〕 県内各地
- 〔内容〕 植樹、育樹、自然観察会、木工体験、その他森林体験など

(4) 記録誌・記録映像の作成、記念切手の発行

第64回全国植樹祭の式典をはじめ、各種の記念行事や県民運動の活動を、記録誌や記録ビデオ等にまとめ、後世に残します。

(5) 苗木のスクールステイをはじめとする育苗事業

とっとりグリーンウェイブの一環として、全国植樹祭等で使用する苗木の一部を小学校や家庭等で育てることで、緑の大切さと森づくりへの関心を高めます。

- 〔時期〕 平成23年春季～平成25年春季
- 〔場所〕 県下全域の希望する学校、家庭、団体
- 〔内容〕 苗木を育成、全国植樹祭で使用

3 関連事業等の内容

○関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、互いに連携すべき事業とします。

(1) 全国林業後継者大会(第64回全国植樹祭開催日前日実施)

全国の林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森林づくりの重要性を再認識し、森林を育て、活用し、木づかい運動を推進することにより、林業技術と元気な森林・林業を未来に引き継ぐことを国民に発信するための大会とします。

〔時 期〕 平成25年春(第64回全国植樹祭開催日の前日)

〔場 所〕 県中部地域

〔内 容〕 林業者の活動報告、パネルディスカッションなど

(2) 「とっとり共生の森」参画企業との連携事業(平成23～24年度実施)

- ・同一日に一斉開催する各社の森林保全活動
- ・県、参画企業で共同開催するイベント
- ・参画企業が植栽苗木の一部を育てて提供
- ・参画企業の協賛をいただいて、著名人を招いた記念シンポジウムの開催 等



「とっとり共生の森」参加者



企業によるナラ枯れ被害の防止活動

1 広報計画

○開催理念や事業の展開などについて、お知らせするだけでなく、県民が率先してのおもてなしを盛り上げる内容とします。

○開催までの広報計画を、下記のように大きく3つの期間にゾーニングし、各市町村、関係団体と連携を図りながら、各種広告媒体の特性を生かした情報発信の取り組みを推進します。

①予告期間 ②周知・理解期間 ③拡大・発展期間

(1) インターネットの活用

第64回全国植樹祭の公式ホームページを運営し、各種イベントや各種取り組み状況等を、タイムリーにかつ、広く、見やすく情報発信します。

(2) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等により、全国植樹祭、記念行事、県民運動等に関する情報を提供します。

(3) 市町村との連携

市町村の広報誌やイベント等での広報活動と連携を図り、全国植樹祭の周知と県民運動の推進を図ります。

(4) 企業・団体との連携

シンボルマークやロゴマークの使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 大会シンボルマーク、ロゴ等の活用

シンボルマークやポスター原画を用いた各種PRグッズを作成し、各種イベント等で積極的に活用して開催機運を盛り上げます。また、シンボルマークやロゴの使用を、県民や企業などにも広く呼びかけます。

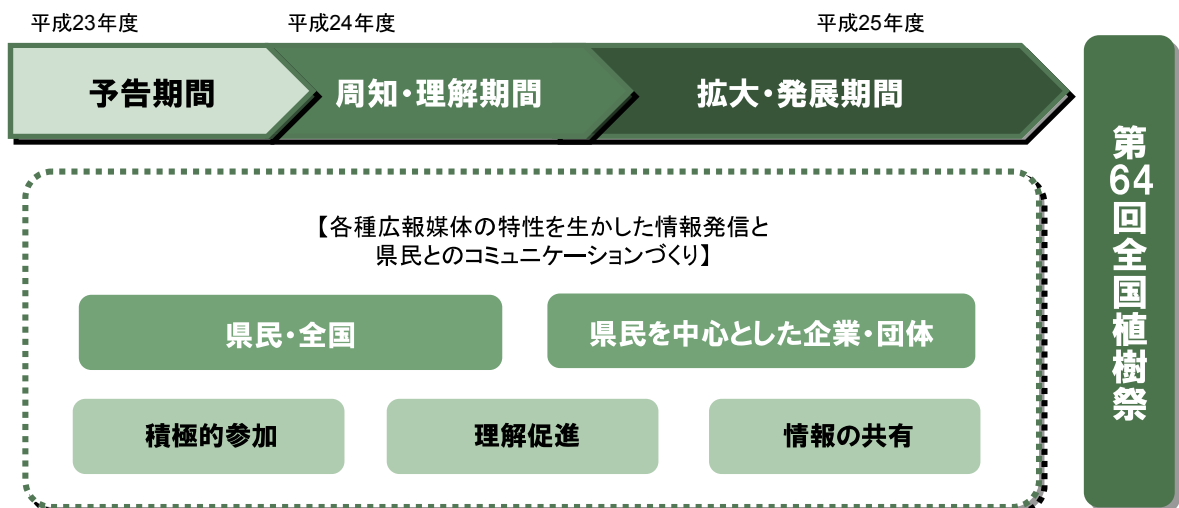
(6) 植樹祭に関する情報誌の発行

全国植樹祭だよりなど、定期広報誌を発行し、開催準備状況、県民運動、記念事業等に関する情報を定期的に発行します。

(7) PRグッズの作成・配布

第64回全国植樹祭のPRグッズを作成・配布し、開催の周知と気運の盛り上げを図ります。

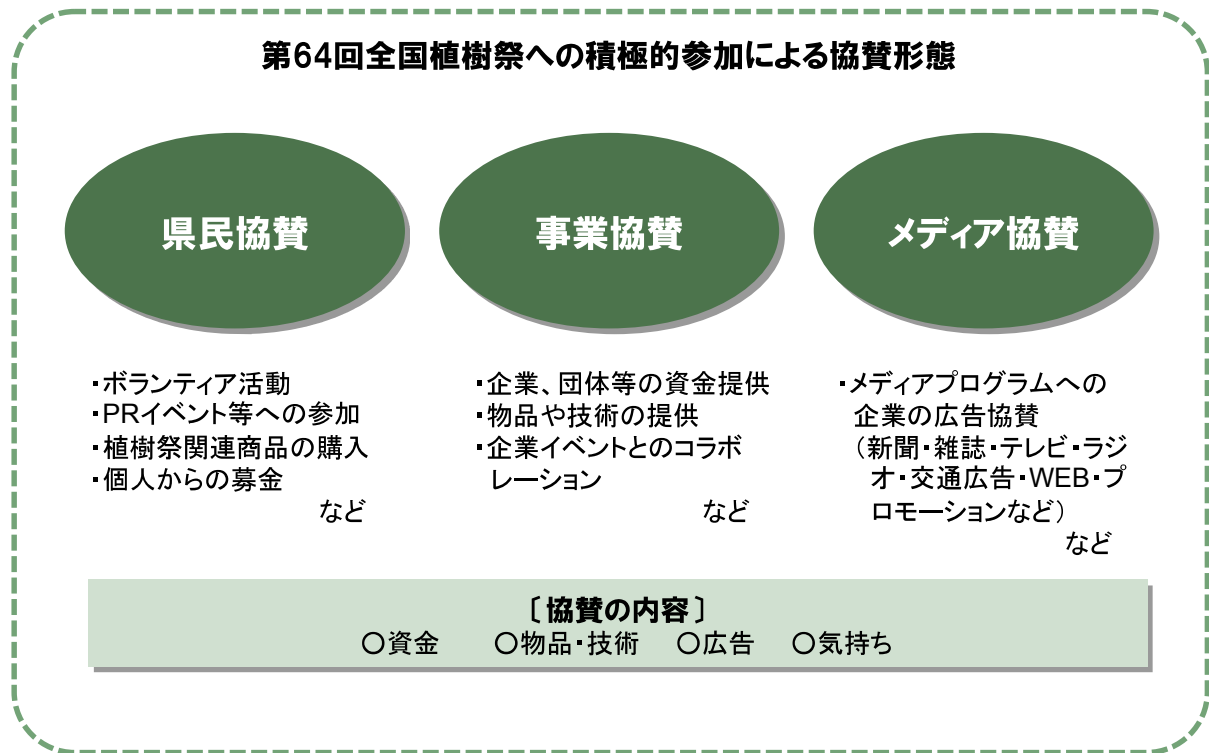
〔広報の展開イメージ〕



2 協賛計画

○全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として、県民運動の拡がりを図っていくため、県内の企業や団体、個人に対し、広く支援を求めています。

○協賛社(者)は、全国植樹祭会場や公式ホームページ、及び記録誌等で名前が公表され、その協力が讃えられます。



それぞれの協賛の集結…

第64回全国植樹祭の成功

持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、
里山林等森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、
就業スタイル等の

「心癒される森林づくり」を推進